

安定供給ネットワーク会員の新設について

日本ジェネリック製薬協会

日本ジェネリック医薬品協会（GE薬協）では、後発医薬品の安定供給に向け、企業間の情報共有および連携強化を目的として「安定供給責任者会議」を設置し、具体的な対応策の検討や関連システムの構築に取り組んでまいりました。

一方で、安定供給体制をさらに強固なものとするためには、協会会員企業にとどまらず、医薬品の製造・供給に関わる幅広い企業が、それぞれの立場で役割を果たし、相互に連携・協働する枠組をの構築することが不可欠です。

このため、医療用医薬品の安定供給に資する情報共有および協働体制の構築を目的として、後発医薬品の製造販売承認を取得しているメーカーを対象に「安定供給ネットワーク会員」制度を新設することにいたしました。

安定供給ネットワーク会員の位置付け

安定供給ネットワーク会員は、GE薬協の趣旨に賛同し、医療用医薬品の安定供給に向けた取組に協力いただく企業を対象とした会員区分です。

本制度は、協会運営への参画を目的とするものではなく、安定供給に関する情報共有・連携を主眼としたネットワーク型の枠組みです。

主な活動内容

- ・ 医療用医薬品の安定供給に資する情報の共有
- ・ 安定供給に関する課題・取組事例の共有
- ・ GE薬協が主催する安定供給関連説明会・情報提供への参加
- ・ 必要に応じた協会との意見交換・連携
- ・ JGAの安定供給システムへのアクセス

※個別企業の営業活動や競争に関わる情報の共有は行いません。